



新理事長のご挨拶

SPU学会理事長 星文彦



この度、萱場一則前理事長から引き継ぎ埼玉県立大学保健医療福祉学学会 (SPU 学会) 理事長を拝命しました星文彦です。

どうぞよろしくお願い致します。

SPU 学会は、今年で創立 12 周年となり、充実期になるかと思いますが、さらに発展して行かなければなりません。本学会は、保健医療福祉を学際的観点から捉え、各領域の基礎から応用まで広範な研究の発表の場と各領域間の連携や協働を構築する場として、重要なアカデミアの役割を持っており、とてもユニークな学会と言えます。また、連携を前提に集うアットホームな学会でもあると言えます。

本学の「専門性と連携の教育」を修めた卒業生や修了生は、それぞれの専門領域の実践の場で、また

研究や教育の場で活躍していますが、「専門性と連携のアカデミア」である本学会が、卒業生や修了生の“学びの故郷 (アカデミック・ホーム)”として、年一回の集いの場となり、さらにその仲間のアカデミアとなればと思います。

そのためには、やはり学会からの情報や成果の発信が重要であり、卒業生や修了生への情報提供と同時にインターネット広報として、検索エンジンで容易に検索されるためのホームページの工夫も必要かもしれません。会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

会員の皆様の協働により、SPU 学会が埼玉県立大学のプレゼンスを更に高めるアカデミアとなることを願っております。

### 本会の歴史

本学会は、埼玉県立大学 10 周年記念事業の一環として、2009 (平成 21) 年 11 月 1 日に埼玉県立大学保健医療福祉学学会創設記念集会在開催され、本学会への入会の呼びかけを行い、翌年 3 月、正式に発足しました。設立の目的は①保健医療福祉の発展と会員相互の学術的・学際的研鑽、②保健医療福祉サービスの質の向上とキャリアアップの継続的な支援、③国内外における保健医療福祉関係者、地域産学官との連携と協力関係の構築です。

学術集会は年 1 回開催され、学術集会では毎年テーマを決め多分野にわたる学内外の有識者による講演が行われるとともに、学会発表は学際的な交流の場となっています。2019 年 10 月には第 10 回を迎えました。大学創立 20 周年の節目に当たり、優れた内容の紙上発表者への表彰が実施されました。

学会誌「保健医療福祉科学」は年 1 回発行されており冊子体で 8 巻まで刊行されました。2019 (平成 31) 年 5 月には、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) が構築した科学技術情報の電子ジャーナル出版を推進するプラットフォーム「J-STAGE」に登録され、成果を国内外に迅速に発信することが可能になっております。

組織ですが、役員は、理事長 (学長が兼任) 1 名、副理事長 1 名を含む理事 10 名、監事 2 名、学術集會会長により構成されております。



看護学科教授 鈴木 幸子  
学術集会テーマ：人々の多様性と保健医療福祉の実践

国連が提唱するSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) の17の目標のうちの5番目は「ジェンダーの平等を実現しよう」です。ジェンダーは多様性の中でも早くから注目されてきました。日本はジェンダーギャップがかなりある国として国際的にも有名なことは皆さんも良くご存じのことと思いますが、ジェンダーの平等以外にもSDGsのすべての目標にこの「多様性」が関わっているとも言われています。

2030年までの到達を目指すSDGsの全体の理念として「誰一人取り残さない」があります。本学術集会のテーマである「人々の多様性と保健医療福祉の実践」は地球規模のテーマであると同時に身の回りの取り残されがちな人々が何を経験し、どう困難を感じているかを知る身近なことでもあります。新型コロナウイルス感染症拡大の危機において、外国にルーツを持つ方や障がいのある方、十分に親からの保護を受けられない子どもたちなど少数者が取り残されているのではと危惧します。

オンライン開催ですが教育講演やシンポジウムではリアルタイムの質疑応答ができます。一般演題では質問に対して後日演者からのコメントを返します。リモートですが、双方向の意見交換ができることを期待しています。

**【開催日時】** 2021年11月13日(土) ライブ配信  
2021年11月13日(土)～11月30日(火) オンデマンド配信(予定)

**【開催方法】** オンライン開催 (ライブ配信・オンデマンド配信)

**【参加費】** 無料

**【参加登録】** 2021年7月9日(金)～11月12日(金)正午 まで

- ・参加ご希望の方は望の方は[ここをクリック](#)
- ・参加登録の方には、前日までにオンライン参加方法の詳細についてご連絡します。

**【演題登録】** 2021年8月2日(月)～2021年9月30日(木) (延長しました)

「抄録原稿用フォーマット(ワード)」をダウンロードの上、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会抄録作成要領に沿って原稿を作成し、メール添付にて下記アドレス宛にお送りください。

- ・抄録原稿送信用アドレス: conference@spu.ac.jp
- ・抄録原稿用フォーマット  
<https://www.spu.ac.jp/Portals/0/News%20file/kikaku/spu/format.doc>
- ・抄録作成要領  
<https://www.spu.ac.jp/Portals/0/News%20file/kikaku/spu/youkou.doc>

※ 参加登録、演題登録の詳細はHPでご案内中です [お知らせ](#) | [埼玉県立大学 \(spu.ac.jp\)](http://www.spu.ac.jp)

## 【プログラム】

|             | プログラム   |
|-------------|---|
| 12:30～      | 受付開始  |
| 13:00～13:10 | 開会挨拶<br>学術集会会長 鈴木幸子（埼玉県立大学 看護学科教授）  |
| 13:10～13:55 | 教育講演 座長 鈴木幸子（埼玉県立大学）<br>「ヤングケアラーといわれる子どもたちへの支援<br>ー精神疾患の親をもつ子どもたちと歩んでー」<br>横山恵子さん（横浜創英大学 看護学部教授）  |
| 14:00～15:30 | シンポジウム 「人々の多様性と保健医療福祉の実践」<br>座長 関美雪・兼宗美幸（埼玉県立大学）<br>1. 「性的少数者の抱える困難とその特徴に応じた支援」<br>藤井ひろみさん（大手前大学 国際看護学部 看護学科教授）<br>2. 「多様な障害に向き合う就労支援」<br>朝日雅也さん（埼玉県立大学保健医療福祉学部 社会福祉学科教授）<br>3. 「困難を抱える外国人への支援」<br>ティック・タム・チー さん<br>（在日ベトナム仏教信者会 代表会長・大恩寺ベトナム寺院 住職） |
| 15:30～15:40 | 閉会挨拶<br>次期学術集会会長  |
| 16:00       | 閉会  |
| オンデマンド      | 一般演題  |

— 家族介護の実態から介護者支援のあり方を考えよう！ —

【趣旨】

日本では少子高齢化に伴い、公的サービスによる支援体制は拡充しているものの、要介護高齢者の介護には配偶者や子などの家族が大きな役割を担っている状況にあります。近年では、18歳未満の児童による介護（ヤングケアラー）の問題、子育てと介護を同時に担うダブルケアの問題、高齢配偶者による老々介護の問題など、介護者が抱える課題も多様化しています。

国は、地域共生社会の実現に向け、様々な施策を展開しています。その中には、在宅療養者を支える視点から、介護者支援も重要なテーマとなっています。埼玉県も、全国初となる「埼玉県ケアラー支援条例（2020年3月31日公布）」を制定し、同条例のもと、介護者支援策を展開しています。NPO法人などの各種関係団体も、家族介護者支援活動を行っています。

しかしながら、こうした様々な取組や施策が、関係者間で十分には共有できていないという実情があります。そこで、今回のシンポジウムでは「介護者支援」に焦点を当て、家族介護者、その支援者、支援策を考える行政、それぞれの立場から介護者支援のあり方を総合的に考えます。

【配信方法など】

- 本シンポジウムはオンデマンドで視聴いただく形で、12月以降の公開を予定しております。
- 視聴の方法等は電子メールまたは研究開発センターHPでご案内いたします。

プログラム（予定）

開会のあいさつ

公立大学法人埼玉県立大学 理事長 田中 滋

第1部 基調講演 「家族介護をめぐる課題と展望（仮称）」

埼玉県立大学大学院／研究開発センター  
教授 川越 雅弘

第2部 特別講演 「家族介護者を支援するための国の施策について（仮称）」

厚生労働省老健局 認知症施策・地域介護推進課  
課長 笹子 宗一郎

第3部 シンポジウム「家族介護者を如何に支えるか」

講演1 「ヤングケアラーが抱える課題と必要な支援（仮称）」

草加市議会 議員 井手 大喜

講演2 「認知症介護の実態とその家族を支えるために必要な支援とは（仮称）」

認知症の人と家族の会埼玉県支部 代表 花俣 ふみ代

講演3 「介護者支援に向けたNPOの取組（仮称）」

さいたまNPOセンター専務理事 村田 恵子

講演4 「埼玉県におけるケアラー支援への取組（仮称）」

埼玉県福祉部地域包括ケア課 課長 藤岡 麻里

講演5 「家族介護者を如何に支えるか～大学の立場から～（仮称）」

埼玉県立大学 学長補佐 朝日 雅也

パネルディスカッション

座長 川越 雅弘

閉会のあいさつ

埼玉県立大学 学長 星 文彦

共催：埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 後援：日本地域包括ケア学会

## \* 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 入会のご案内 \*

会員数 160 名（2020 年 3 月 31 日現在）です。教員・研究者の方々、大学院生、学部生、保健医療福祉領域でご活躍されている臨床の方々の日頃の成果の発表の場として、是非本学会をご活用下さい。

入会金 : 不要

年会費 : 正会員 4,000 円 準会員（大学院生を除く学生）1,000 円 賛助会員 1 口 5,000 円以上

入会方法 : 指定口座に年会費をお振込みの上、下記 URL または QR コードより入会申込フォームにご入力下さい。

[埼玉県立大学 Web Class 公開 URL]

<https://swebclass.spu.ac.jp/webclass/login.php?id=8f5d3518ff1b4b866a45c300ebfc3d48&page=1>



（「ゲストログイン」より開始）

振込先 : 【郵便振替】

加入者名 : 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会

口座番号 : 00110-2-595897

【振込口座】

銀行名 ゆうちょ銀行

金融機関コード 9900

店番 019

店名 〇一九店（ゼロイチキュウテン）

預金種目 当座

口座番号 0595897

### 領収証につきまして

2021 年度より、振替払込受領証（ご利用明細）をもって領収証に代えさせていただきます。

振替払込受領証とは別に本学会からの領収証が必要な場合は、E メールより会計係までお知らせください。

入会についてのお問い合わせは、下記までご連絡下さい。

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮 820

埼玉県立大学内 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会

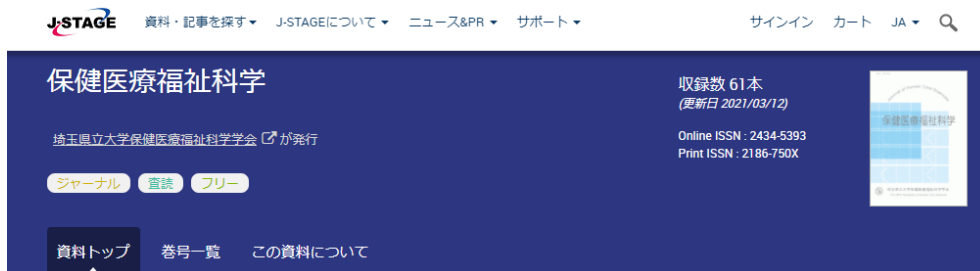
事務局 E-mail : gakkai@spu.ac.jp

会計係 E-mail : gakkai-kaikei@spu.ac.jp

## 『保健医療福祉科学 Journal of Human Care Sciences』

### 投稿論文募集

本学会では、「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE)に機関誌を掲載しています。



The screenshot shows the J-STAGE website interface. At the top, there are navigation links for '資料・記事を探す', 'J-STAGEについて', 'ニュース&PR', and 'サポート'. On the right, there are links for 'サインイン', 'カート', and 'JA'. The main content area features the journal title '保健医療福祉科学' and its English title 'Journal of Human Care Sciences'. It indicates that the journal is published by the '埼玉県立大学保健医療福祉科学学会' and provides the ISSN numbers: Online ISSN: 2434-5393 and Print ISSN: 2186-750X. There are also buttons for 'ジャーナル', '査読', and 'フリー', and a '資料トップ' button.

- 論文は年間を通して随時受け付けております。ご投稿の際には、投稿規程および倫理指針をご熟読の上、ご投稿ください。
- 投稿規程等は、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 HP (<https://www.spu.ac.jp/about/society/>)で最新版のご確認をお願いします。皆様からのご投稿をお待ちしております。



※連絡先 埼玉県立大学内「保健医療福祉科学」編集委員会事務局

### 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮 820

FAX : 048-973-4773

E-mail : [gakkai@spu.ac.jp](mailto:gakkai@spu.ac.jp)

ホームページ : <https://www.spu.ac.jp/about/society/>



### お知らせ

ニュースレターは9月と3月の年2回発行し、9月はメールで配信いたします。メールアドレスの変更がある方は、左記事務局までご連絡下さい。また、ニュースレターは本学会ホームページにも掲載予定です。是非ご覧ください。

SPU 学会 News Letter 第4号編集担当